

## 令和3年度あま市保健対策推進協議会要旨

### 1 あま市保健対策推進協議会委員の交代について

任期 令和4年1月4日から令和6年1月3日までの2年間

委員の改選により、3名の委員が交代

交代した委員

- ・小中学校長会会長 恒川則明 委員
- ・食生活改善推進員連絡協議会会長 野村裕子 委員
- ・津島保健所長 竹原木綿子 委員

### 2 令和3年度保健事業の経過報告について

#### (1) あま市母子保健体系図

- ・妊娠前の一般不妊治療費助成事業から妊娠届、赤ちゃん出生、乳幼児期、入園・入学までの事業を時系列で表記。
- ・平成29年度から「妊娠・子育てつなぐサポート事業」を開始し、妊娠中から支援プランをたて、関係づくり、子育て支援、虐待防止に努めている。

#### (2) 母子保健事業一覧

- ・母子健康手帳は、昨年度より交付数は減少傾向。
- ・今年度は、新型コロナワクチン集団接種のため、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室を9月まで中止。
- ・乳幼児健診は、七宝・美和保健センターが新型コロナワクチン接種の接種会場となったため、健診の会場を甚目寺保健センターに集約。

#### (3) 予防接種事業一覧

- ・今年度の変更点は、令和2年10月に定期接種となったロタワクチンが通年となったこと。
- ・日本脳炎2期において、ワクチンの製造が一時停止となり、対象の小学4年生に通知を行わなかったことで実績が減少。
- ・子宮頸がんワクチンは、令和2年10月に厚生労働省から、希望者への周知及び接種機会の確保の通知があり、6月に高校1年生を対象にはがきにより周知。また、11月に積極的勧奨を差し控える状態を終了させることが妥当とされ、有効性・安全性に関する情報等を提供し、個別に勧奨することとされた。
- ・新型コロナワクチン接種は、4月末から各保健センターとあま市民病院で集団接種が始まり、6月から医療機関において個別接種を開始。

接種回数 1人2回接種 (12月末現在) 延べ137, 110回

対象者 12歳以上

追加接種(3回目)に向け、順次、接種券の発送を行っている。

#### (4) 成人保健事業一覧

- ・保健センターが新型コロナワクチン接種の会場となったため、30・35歳健診、生活保護世帯の方に実施するすこやか健診及び大腸がん・肝炎無料クーポン検診は、令和2、3年度の対象者に集団検診で実施。その他のがん検診等は昨年度に引き続き中止し、医療機関で実施する個別がん検診のみ実施した。
- ・2年連続の集団がん検診の中止に伴い、個別がん検診受診者は昨年度大幅に増加したが、今年度は更に増加。
- ・その他の事業は、新型コロナワクチン接種事業及び感染防止のため、中止や縮小開催するなどしたため、全体的に実績は減少。
- ・郵便局との包括連携に関する協定に基づき、がん検診について市内郵便局の窓口にポスターの掲示、チラシの設置、及びポストへの啓発シールの貼付により住民に周知。

#### (5) 健康増進事業一覧

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康福祉まつり、前期歯の健康センターは中止（昨年同様）。
- ・健康マイレージは、新型コロナウイルス感染防止対策を取組内容に加え、一般の当選者数を300人から600人に増加。当選商品に感染防止関連のグッズを取り入れるなど、コロナ禍における健康増進についての啓発を行った。結果「一般コース」「小中学校コース」ともに昨年度より応募数が増加。
- ・骨髄ドナー助成事業は、2名に助成を実施。
- ・食生活改善推進員及び生き生き推進隊は、コロナ感染症予防に努めながら、例会や市民への周知啓発活動等の活動を始めている。
- ・自殺対策推進事業は、コロナ禍における自殺者増加が懸念されることから、医師、保健師等が24時間対応するコールセンター（あま安心ダイヤル）を4月から設置。
- ・郵便局との包括連携に関する協定に基づき、コールセンター（あま安心ダイヤル）について、ポストへの啓発シールの貼付により住民に周知。
- ・不眠やストレスなどに関するリーフレットを市内の調剤薬局やドラッグストアに設置し、相談窓口を周知。

#### (6) 高齢者保健事業一覧

- ・新型コロナウイルス感染症による、緊急事態宣言発出中の5月、9月のはつらつクラブ・ワクワクからだ教室・健康相談は中止。
- ・一体化事業である「笑って元気スクール」の3地区（下萱津・中橋・沖之島）サロンへの訪問を行い「ずっと We Love あま！体操」の周知啓発を実施。

### 3 令和4年度保健事業計画（案）について

#### (1) あま市母子保健体系図

新規事業は特になし。

#### (2) 母子保健事業

- ・健康診査の年間回数（予定）

乳児健康診査39回、1歳6か月児健康診査33回、3歳児健康診査31回  
昨年度より対象者数が減少したのに伴い、健診回数も減少。

- ・健診会場

七宝・美和保健センターは、新型コロナワクチン接種の追加接種の会場となるため、当面の間、甚目寺保健センターで実施し、ワクチン接種が終了後は、各地区保健センターで実施予定。

#### (3) 予防接種事業

- ・令和3年度と同様。

- ・子宮頸がんワクチンは、接種案内の個別送付を行い、勧奨する。

- ・大人の風しん（風しんの追加対策）には、今年度で終了予定であったが、検査率が低いため、3年間の延長となっている。

- ・新型コロナワクチン接種は、追加接種と5～11歳の小児を対象にした1・2回目接種も同時に実施する。

#### (4) 成人保健事業

- ・集団がん検診等は、1回あたりの定員を減らし、コロナ感染症予防に努めながら実施予定。

- ・個別がん検診は例年通り、6月から10月の期間で実施。

- ・公認心理師による「心の相談室」は、健康相談、栄養相談、歯科相談と同様に、随時相談で日時を調整する。

#### (5) 健康増進事業

- ・健康マイレージは、協会けんぽと連携し、市内で健康宣言を行っている事業所に対しても周知啓発を行い、企業に対しても健康づくりを推進する。

- ・自殺対策推進事業は、コロナ禍における自殺者増加が懸念されるため、医師、保健師等が24時間対応するコールセンターや、自殺防止啓発用リーフレットの調剤薬局等への設置など、自殺対策を推進する。

- ・市内調剤薬局の薬剤師に対し、ゲートキーパー養成講座を実施し、地域での見守りを充実していく。

- ・出前講座で実施している「ずっとWe Love あま！体操」を、生き生き推進隊とともに、サロン及び保育園等で周知啓発を図る。

- ・市民への野菜摂取の必要性の啓発、健康づくりのための環境整備を行うため、市内飲食店等に、野菜摂取量増加促進のためのメニュー提供を行う「あま市健康づくり応援店事業」の周知を図る。

(6) 高齢者保健事業

- ・各種事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら実施予定
- ・令和4年度の栄養教室は、調理実習での感染症拡大を鑑み中止し、低栄養予防冊子を各種事業で配布。
- ・一体化事業は「笑って元気スクール」のサロン訪問箇所を増やし「ずっと We Love あま！体操」の周知啓発活動を継続し、フレイルやロコモ、認知症などの予防に取り組み、健康寿命の延伸に努める。

4 健康づくり計画、歯と口腔保健計画及び食育推進計画に関する行政の取組

- ・第2次あま市健康づくり計画、歯と口腔保健計画及び食育推進計画の中間評価を令和3年度に実施した。
- ・令和4年度からは、中間評価で再設定した目標値に向け保健事業を展開する。
- ・令和2、3年度の2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止や新型コロナワクチン接種のため、イベント、教室等が中止や縮小開催となり、集団場面での啓発を行うことが困難な状況であったため、今後は、教室等を開催し対象者を集めて実施する健康教育から、広く市民へ情報を発信し啓発する方法へ方向転換をしていく。
- ・他課で同様の運動教室、栄養教室等が実施されているため、市役所内での横の連携を強め、教室等を精査する。
- ・8020運動の推進については、9020・8020表彰事業で、市職員が表彰を行った。10020表彰に関しては、該当者は無かった。